現地の学生が先生に
雇用確保にも一役

スカイプでインドネシア語

無料インターネット電話「スカイプ」を利用したマンツーマンのインドネシア語教室が増えている。インドネシアに駐在予定のビジネスマンやインドネシア文化に興味がある主婦など、時間や場所に関係なく時手軽にインドネシア語を学べると好評だ。東ジャワ州マランの大学と東京の語学学校の取り組みを2回に分け紹介する。

（小塩航大、写真も）

『おはようございます』はインドネシア語で『スラマット・パギ』。私の後に続いて発音してください」。パソコンの画面上のインドネシア人講師が、流ちょうな日本語で学習者に話しかける。

スカイプを利用した語学教室「日本インドネシア語学院」は1日、インドネシア語学習の初心者を対象に、東ジャワ州マランの国立ブラウィジャヤ大学文学部日本語学科とインドネシア人IT技術者を派遣してきたニキサエ・ジャパン（愛知県名古屋市）が開設した。

学習者は自由に曜日と時間帯を指定でき、ネット環境が整っていればどこでも授業を受けられる。職場や自宅から移動する必要もなく、自分のペースに合わせて学習できる。

講師はブラウィジャヤ大日本語学科の在学生や卒業生約60人。

いずれも日本語検定3級かそれ相当の日本語能力を持つ。

学生たちの活躍の場を提供する目的もあり、授業料は低価格に設定した。

生徒数を増やし、学生たちに日本語を使い、就労する機会を与えたいという。

同社の高橋克典社長によると、マランでは学生たちが学んだ日本語を活用できる仕事が少なく、同大から「日本語を使う就業機会を提供する事業を一緒に起こしたい」という要望を受け、語学教室の運営事業に着手した。

スカイプ授業の風景

高橋氏は「07年に始めてマランの同大を訪問し、日本語能力の高さに驚いた。日本人からインドネシア語学習に関する問い合わせが増加していたので、同大と何かできないかと考えた」と話す。

講師の1人、マリサさん(28)は日本留学の経験もあるが、地元のマランで日本語を生かせる仕事は高校教諭しかない。

高校で非常勤の日本語教師として働いているが、月収は1万円にも満たないという。

そこで依頼を受けたのがスカイプを活用したインドネシア語の授業だ。マリサさんは「日常的に日本語を話すようになった。日本人との会話を通じ、自分の日本語能力も高めたい」と精力的に授業に取り組んでいる。

授業は1回25分。基本コースは1レッスン995円で、月額3980円。教材費は無料。詳細は（http://www.nikisae.co.jp/gakuin/kousyoukai.html）。

（次回は29日（月）付紙面の同欄に掲載します）

教育

スポーツ選手が人気
新1年生なりたい職業

クラレは3日、小学校に今春入学する新1年生に就きたい職業を尋ねたアンケート結果を発表した。

男の子は「スポーツ選手」(27・2%)、女の子は「パン・ケーキ屋・お菓子屋」(33・9%)が、ともに15年連続で1位となった。

「スポーツ選手」は、女の子の順位も昨年の12位から8位に上がった。

2・4%とまだ少数派だが、サッカーの「なでしこジャパン」など女子アスリートの国際的な活て、人気上昇の兆という。

男の子は「医師0%)が8位で、位から順位を上げた

女の子の2位は人・タレント・歌手7%)。

過去最高の3位「保育士」(9・6いては「両親の共

発達障害、親子で理解を
絵本仕立てで4冊

自閉症や学習障害などの発達障害がある生は全国に約60万人いわれる。

こうした障害について子どもと大人が一緒に理められるシリーズ「新達と障害を考える本」ルヴァ書房（京都市）した。

第1弾は、自閉症、ルガー症候群、学習障D)、注意欠陥多動性障DHD)の4冊。

漢字にはルビをふりストを多く使って絵本にした。

発達障害のある友だ

人学校
十字